

愛媛 “治療+仕事=両立” 企業宣言

「治療と仕事の両立支援」対策の取組をスタートしましょう！
愛媛労働局内「治療と仕事の両立支援特設サイト」に
貴社の「宣言」を掲載します。



「治療と仕事の両立支援」は病気を抱える労働者が、適切な治療を受けながら安心して生き生きと働き続けられる社会を目指す「働き方改革実行計画」に基づく取組です。

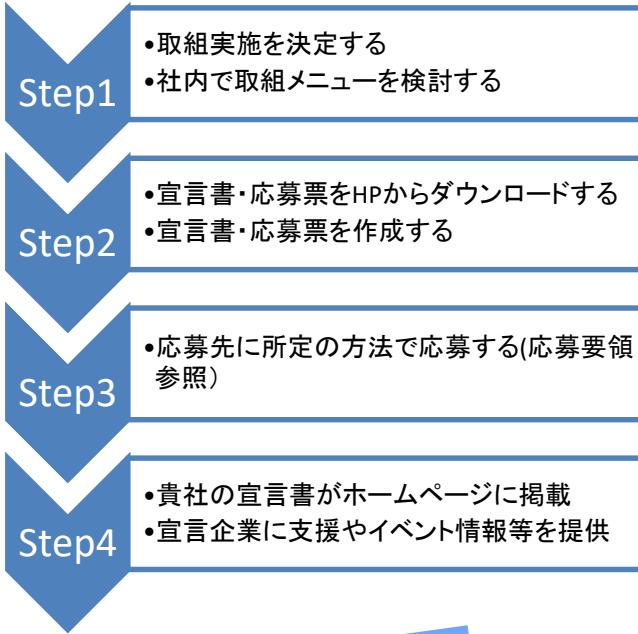
この取組における企業での環境整備の第一歩は「事業者による基本方針等の表明」です。貴社の「基本方針等の表明」を「宣言書」にして応募し、「愛媛“治療+仕事=両立”宣言企業」としてアピールしてみませんか。

「推進チーム」で必要な支援を行います。取り組む意欲が大切です。

【応募のメリット】

- ・会社全体で取り組みを推進する動機付けとなるとともに、従業員のモチベーションの向上が期待できます。
- ・広く企業方針等をアピールできます。
- ・県下の治療と仕事の両立支援の進展、機運醸成等に貢献できます。
- ・希望により愛媛県地域両立支援推進チーム（以下「推進チーム」という。）のメンバーが行う支援（取組方法や教育、個別事案の調整方法、相談等に個別訪問での支援、個別事案の調整支援等）のメニューを提示し、支援を行います。
- ・推進チームのメンバー等が主催する両立支援関係のイベント等のご案内をします。
- ・「治療と仕事の両立支援」イメージキャラクター“ちりょうさ”ピンバッヂを進呈します。

【応募の流れ】



治療と仕事の両立を支援する特設サイトのご案内

特設サイトへアクセス

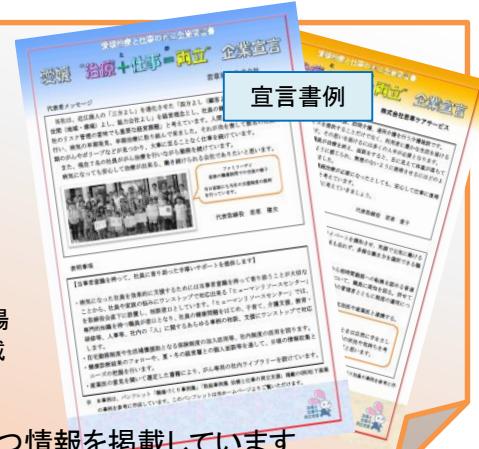


トップページ下段の
バナーをクリック

愛媛 “治療+仕事=両立” 企業宣言

宣言企業サイトへ入場
様式、応募要領、記載
要領、記載例等掲載

宣言書例



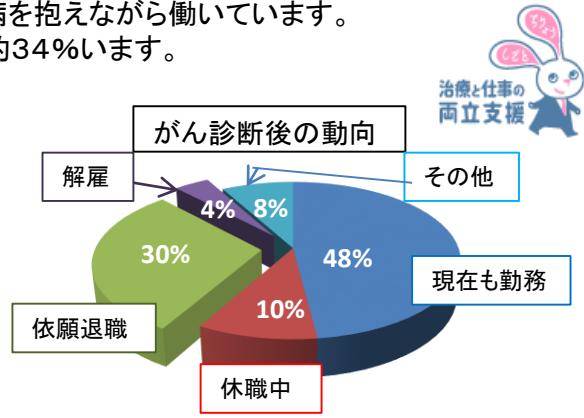
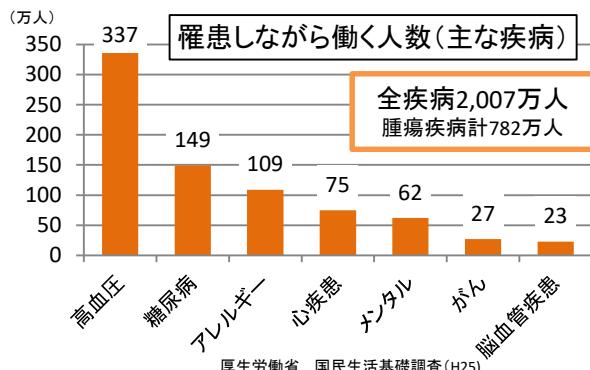
特設サイトには相談窓口、イベント案内、冊子紹介等両立支援に役立つ情報を掲載しています

治療と仕事の両立支援の必要性と意義

なぜ今「治療と仕事の両立支援」が必要とされ、どのような意義があるのか「3つのポイント」を説明します。それぞれの事業場の状況と照らし合わせてみてください。

Point 1

日本の労働人口の約3人に1人が疾病を抱えながら働いています。
がんの場合、診断後に離職する人は約34%います。



Point 2

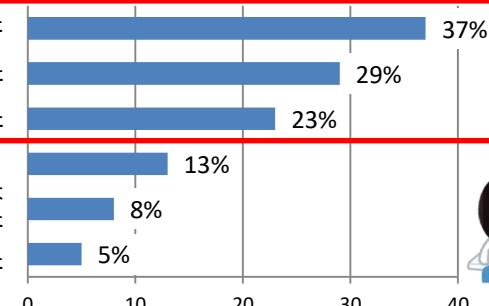
治療技術の進歩により、仕事をしながら治療を続けることが可能な時代になっています。
一方、治療を続けながら働き続けるための制度や社内理解が不十分な状況です。

がん患者の離職理由



- 仕事を続ける自信がなくなった
- 会社や同僚、仕事関係者に迷惑をかけると思った
- 治療や静養に必要な休みをとることが難しかった
- もともと辞めるつもりだった
- 辞めるように促された、もしくは辞めざるを得ないような配置転換がされた
- 解雇された

2013がん体験者の悩みや負担等に関する実態調査



Point 3

治療と仕事の両立を支援することは、労働者や事業者、医療関係者、社会にとって大きな意義があります。

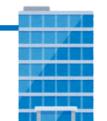
労働者にとっての意義

- 疾病にかかったとしても、希望すれば疾病を増悪させることがないよう、適切な治療を受けながら、仕事を続けられる可能性が高まる。これにより
- ・働くことにより収入を得て、生きがいや社会への貢献を感じられる。
- ・安心感やモチベーションが向上する。



事業者にとっての意義

- ・疾病による従業員の離職を防ぐことで、貴重な人材資源の喪失を防ぐことが可能となる。
- ・従業員のモチベーションの向上から、労働生産性の維持・向上にもつながる。
- ・多様な人材の活用による組織や事業の活性化が期待できる。



医療関係者にとっての意義

- 仕事を理由とする治療の中止や、仕事の過度な負荷による疾病的増悪を防ぐことで、疾病的治療を効果的に進めることができる。



社会にとっての意義

- 疾病を抱える労働者の方々も、それぞれの状況に応じた就業の機会を得ることが可能となり、全ての人が生きがい、働きがいを持って各自活躍できる社会の実現に寄与することが期待される。



愛媛県地域両立支援推進チーム

お問合せ先

愛媛県地域両立支援推進チーム 事務局 (愛媛労働局 労働基準部 健康安全課)

TEL 089-935-5204 Fax 089-935-5247

2018.9